弁論大会(学級)を実施しました！

6月２０日（水）

①開会宣言・・・・・・・・・・・・・・・運営委員

②学級弁論についての説明・注意・・・・運営委員

③班内弁論・・・・・・・・・・・・・・・各班　【１班（４～６名）で相互に弁論を聞き、相互評価】

④採点用紙まとめ（各班）・・・・・・・各班　【採点をもとに班内で１名＋α、優秀者を決める】

⑤学級・学年弁論・・・・・・・・・・・学級もしくは学年　【各班の優秀者の弁論を順に聞き、評価】

⑥採点用紙まとめ（優秀者）・・・・・・全員 →作文用紙回収

⑦先生の講評・・・・・・・・・・・・・・学級担任

⑧閉会宣言・・・・・・・・・・・・・・・運営委員

※採点方法

①内容（１０点）…自分の意見や考えがわかりやすく、しっかりまとまっているか。

（順序よく説明している、話の組み立てを工夫している、キーワードがはっきりしているなど）

②態度（５点）　…自分の意見や考えを伝えようとする態度で工夫し話しているか。

（聞きやすい速さ、聞き取りやすい音量、 クラス全体を意識した顔の向きなど）

〇発表者一人一人の主張について、よく考えて採点する。

〇必ず自分の判断で採点する。

〇採点用紙にしたがって、採点する。感想も書き、提出する。

〇人権作文も回収し、担任へ渡す。

〇投票結果を参考にして、学年で協議し、学年代表１名を決定し文化祭で発表する。

昨年度の先生方のまとめ（感想）より

○人権 happiness を中心とした取り組みができている。人数も増え、やる気を持って取り組んでいる生徒たちがたくさんいる。開講式、閉講式でしっかりと発表できたこともよかったと思う。

○全職員の指導におかげで人権に対し、前向きに考える生徒がいつも以上に増えてきた感がします。

○人権 happiness を中心とした取り組みができている。先輩の取組を手本にやる気を持って取り組んでいる。人権作文の取組と連動していて、質の高い人権作文の弁論発表会ができていると思う。

〇文化祭での人権弁論発表、人権 happiness 発表は生徒に良い影響を与えていると思う。互いに刺激し合って良い人権作文が書けている。

○意欲のある生徒が運営委員になっている。学習も深まりつつある。

○多忙な中での取組により参加生徒や関わる教師の数が少なく、担当者の悩みの１つだとよく聞きましたが逆に本校は参加生徒の熱量も高かったですが、同様に先生の参加率も多く、多忙な中生徒と共に人権を学ぼうとされている姿が多くありました。